

ISO / TC 8でのセキュリティ国際規格提案の経緯について

サプライチェーン・セキュリティ規格
の国際動向セミナー

平成18年4月19日

財団法人 日本船舶技術研究協会

テーマ

- ・国際標準が重要となってきた背景
WTO/TBT協定など
- ・ISO、IEC等の概要、目的、組織、審議体制
審議の原則、メンバーシップ、国際規格策定手順
- ・ISOでのSecurity 関係国際規格審議経過
- ・他のISO技術委員会でのセキュリティ関係国際規格の動向
- ・国内の審議体制

・ 国際標準が重要になってきた背景

1. WTO/TBT協定の発効

- ・ 各国規格及び強制基準の基礎として、国際規格がある場合、又はその仕上がり直前の場合は、その国際規格を採用すること。
- ・ 国際規格作成に、積極的に参加すること。
- ・ 貿易の障壁を除去すること(地域間の摩擦の除去)

2. 欧米諸国が国際規格を戦略的に活用

- ・ CEN (ヨーロッパ規格)、ISO/IEC規格との整合等

3. IMO (国際海事機関) とISO、IEC等国際標準化団体との協調体制の構築

- ・ ISO/TC8は、IMOと海運・造船業界を結ぶパイプである。

4. ISO9000シリーズ(品質マネジメントの国際規格)及びISO1400(環境マネジメントの国際規格)にみられるように国際規格採用への社会的な関心のたかまり等

国際標準化機関の概要

概 要	I S O	I E C
設 立	スイス民法第6条に基づく 非政府組織で、国家標準化 機関の連合、1947年設立	同 左 1906年設立
目 的	国家観の製品やサービスの 交換を助けるために、標準 化活動の発展を促進するこ とと、知的、科学的、技術 的、そして経済的活動にお ける国家間協力を発展させ ること	電気及び電子の技術分野に おける標準化のすべての問 題及び規格適合性評価のよ うな関連事項に関する国際 協力を促進し、これによっ て国際理解を促進すること
会 員	一カ国につき、一機関、 会 員 団 体 146カ国 通 信 会 員 37カ国 購 読 会 員 15カ国	同 左 正 会 員 52カ国 準 会 員 11カ国

国際標準化機関（ISO,IEC）の概要（2 / 2）

<p>審議参加資格</p>	<p>Pメンバー Oメンバー Nonメンバー</p>	<p>正会員（Pメンバー） 準会員（Oメンバー）</p>
<p>年間予算</p>	<p>約22億4992万円 日本は、1億699万円拠出 (平成14年度)</p>	<p>約15億6420万円 日本は、7680万円拠出 (平成14年度)</p>
<p>会長</p>	<p>会長 田中正躬（日本化学協会）2004～2006 (1998年 山下勇氏)</p>	<p>高柳誠一氏（東芝技術顧問） 2002～</p>
<p>制定規格数</p>	<p>約15000規格-2005年末 専門委員会：192 船舶部門：205 + PAS 3</p>	<p>約 44004 規格 -2005 年末) 専門委員会：170</p>

国際規格作成会議への参加資格 PメンバーとOメンバー

ISO/IEC Directive Part2 1.7

各国代表標準化機関は、ISO事務総長宛に、参加する意志のあるTC及びSCについて、

1) 会議に出席することのみならず、TC又はSC内の規格原案に対しての公式投票に参加するPメンバーか

2) 会議にオブザーバーとして参加し、委員会資料の受領と意見を述べる事が出来るOメンバーかを届け出る。

ただし、各国代表標準化機関がPかOかに関係なく、DIS 及びDISに投票はできる。

TC/SC route

Deliverables

段階 1

STAGE 1 NP 新業務項目提案
(new work item proposal)

段階 2

STAGE 2 Building expert consensus 専門家のコンセンサスの形成

段階 3

STAGE 3 Consensus building within TC/SC TC/SC 内でのコンセンサスの形成

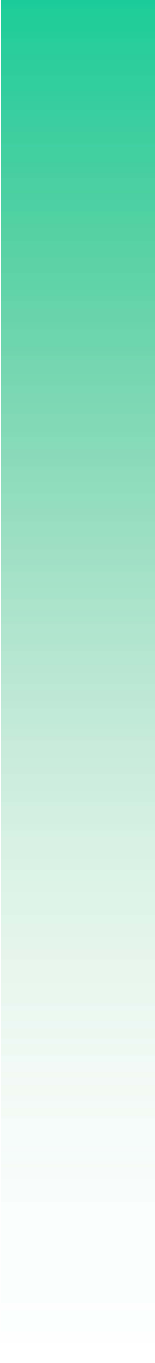
段階 4

STAGE 4 Enquiry on DIS 国際規格案に関する照会
(draft International Standard)

第 1 次委員会原案
First CD (Committee draft)
または ISO/PAS
or ISO/PAS (Publicly Available Specification)

DIS or ISO/TS (Technical Specification) 国際規格案または ISO/TS
ISO/TR (Technical Report) for non-normative documents
非規範文書向けには ISO/テクニカル・レポート

Final text for processing as FDIS (final draft International Standard)
最終国際規格案として処理を進めるための最終テキスト



段階4

STAGE 4

Enquiry on DIS 国際規格案に関する照会
(draft International Standard)

Final text for processing
as FDIS (final draft
International Standard)

最終国際規格案として処理を
進めるための最終テキスト

段階5

STAGE 5

最終国際規格案の正式投票
Formal vote on FDIS
(proof check by secretariat)
(事務局による校正チェック)

Final text
of International
Standard

国際規格の最終テキスト

段階6

STAGE 6

Publication of 国際規格の出版
International Standard

ISO
International
Standard

ISO 国際規格

ワークショップ・ルート

Workshop route

Industry
Technical
Agreement

ITA

NEW!

ISOでのSecurity 関係国際規格審議経過

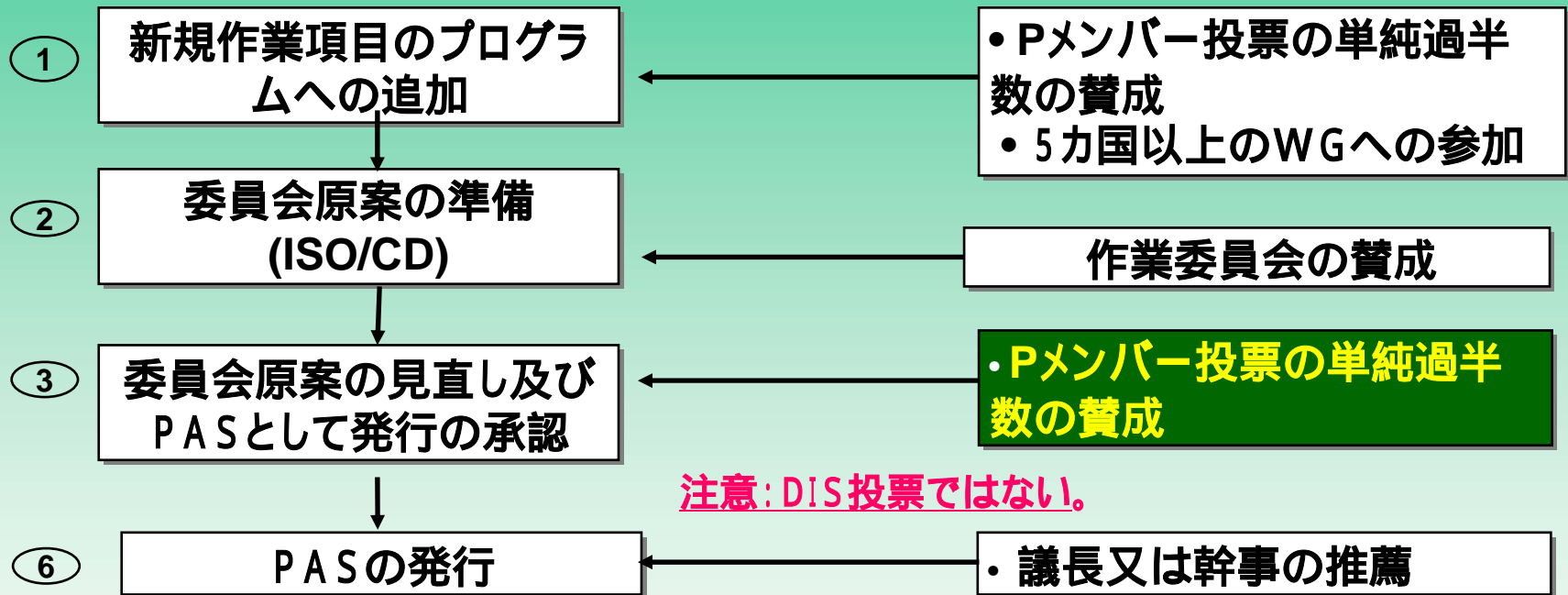
- 2001年11月 IMO第22回 General Assembly にて、アメリカがパイロットプログラムを提案、了承される。このため、ISO/TC 8はSCST (Strategic Council Security Technology)と協力して、現実のサプライチェーンにおけるテロからの脅威について、実証実験を行い、その結果を国際規格に提案する旨宣言（実証実験はクローズドで行われる）
- 2002年12月15日 貨物の情報データ管理に、XML言語を使用することを定めたISO/PAS 16917（海事、複合輸送及び保安のためのデータ伝送）が発行。
- 2003年6月 海事港湾保安評価と保安計画の作成の新規提案投票の結果、反対なし。2004年7月1日 ISO/PAS 20858が発行される。

* PAS（公開仕様書）とする目的は、審議途上（CDレベル）の中間段階で公開する事により、WG以外の広い分野の関係者や関係国際機関等）から意見の提出及び改訂の提案を促すこととなり、完成度の高い国際規格へとブラッシュアップする事を目的とする。

INTERNATIONAL STANDARDS ORGANIZATION FOR STANDARDIZATION (ISO) AND SMART AND SECURE TRADELANES (SST) FORGE STRATEGIC PARTNERSHIP TO SECURE THE FUTURE OF GLOBAL SUPPLY CHAINS

- *Smart and Secure Tradelanes' Will Form a Basis of Future ISO Standards for Intermodal Supply Chain Security.*
- **Geneva, Switzerland, April 2003** – Alan Bryden, Secretary-General of the **International Standards Organization for Standardization (ISO)** signed a Memorandum of Understanding with **General John Coburn, USA (Ret.), Chairman of the Strategic Council on Security Technology**, on 31 March 2003, agreeing that ISO would become a partner with the Strategic Council on Security Technology in their Smart and Secure Tradelanes initiative as a basis for the international pilot ISO programme announced by ISO's technical committee on ships and marine technology (ISO/TC8) in November 2001 at the 22nd Assembly of the International Maritime Organization (IMO) and updated at the SOLAS Diplomatic Conference of IMO in December 2002. The ISO programme was conceived and launched by ISO/TC 8 ISO Technical Committee on ships and marine technology (TC8) and will address the identification of existing security gaps as well as propose solutions to global intermodal supply chain security concerns through the development of standards for implementation by the international trade community which will also be presented to the International Maritime Organization for consideration in their Circulars and Conventions. The ISO/TC8 programme includes an International Advisory Group comprised of senior management of major international organizations, such as, IMO, ILO, WCO, ICS, IAASP, ICC, IICL, ICCL and WNTI; the Ambassador to IMO from Panama; the European Union Commission; the Council on Foreign Relations; several Offices of the United Nations; and others. The intermodal supply chain standards will be developed under the guidance of an International Standards Group led by the Chair of ISO/TC8 and comprised of several Chairs of other ISO Technical Committees and Subcommittees (with the exception of except aviation, which is dealt with separately by ISO/TC20). ISO selected Smart and Secure Tradelanes (SST) for the basis for its programme because of the proven track record, global scope and great promise of the initiative to influence how technology is deployed to enhance the security and visibility cargo shipments within and between countries.

公開仕様書 (PAS: Publicly Available Specification) の主要ステップ



PASの特徴: 必要に応じて、改正が容易にできる。

3年以内: 見直しを行い、継続(もう3年)、廃止、ISOへ進めるか決定

6年以内: ISO規格に変換するか廃止する。(最終決定)

- 2004年9月15/16日 第27回ISO総会において、TC 8議長のSecurityに関するプレゼンテーション実施、TMBとしてIMO及び他の国際機関に迅速に対応するようISO及びその関連組織に推奨する旨の決議。

- 2004年10月24日 TC 8大連会議諮問会議で、アメリカ代表からSecurityに関する新規提案があり、検討した結果、新規提案項目としてTC8で至急提案することとなった。（関連資料：The International Shippers and Freight Forwarders Security Code- (Security Management Systems for the supply chain - Det Norske Veritas)

- 2005年1月6日 ISO/TMB（技術評議会）において、ISO全体としてSecurityに対する取組みを検討してきた最終報告書を発行、Securityに関するA G S（Avisory Group on Security）を設置して、Security Management Standards規格の開発を進める。

- 2005年1月14日 米国(ANSI)提案に基づき、TC8事務局から次のセキュリティ関係新規標準化項目の投票が行われ、2月10日承認された。（反対0，棄権1）

- 1) CD/PAS28000-サプライチェーンのためのセキュリティマネジメントシステムの仕様書

- 2) CD/PAS28001-サプライチェーンのセキュリティの監督のための最適実

- 2005年11月15日 PAS28000が発行（投票結果、賛成11、反対4）
- 2006年1月末－TC8/WG2会議において、PAS28000の姉妹規格である次の国際規格の開発を始める。
 - 1) CD/PAS28003-サプライチェーンのセキュリティマネジメントシステムの認証及び監査機関の要件（仮称）
 - 2) CD/PAS28004-サプライチェーンのセキュリティマネジメントシステム実施のためのガイドライン（仮称）
- 2006年3月4/6日 PAS28001案の最終的な審議終了（WSCとの整合）
今後、4月末から5月末にかけて、CD/PAS投票がおこなわれる予定（TC8/SC11）
- 2005年6月始め PAS28001が承認されると、発行予定は8月頃と予想される。

参考：5月開催予定のIMO/海上安全委員会において、上記サプライチェーン関係国際規格（PAS）の紹介が行われる予定

他のISO技術委員会でのセキュリティ関係国際規格の動向

ISO / TC 名 称	規 格 名 称	内 容
TC34 農産食品	ISO 22000 : 2005	食品に係るサプライチェーンの安全性の確保
JTC 1/SC 27 情報セキュリティ技術	ISO/IEC 27001: 2005 (シリーズ規格)	Information Security Management Systems
JTC 1/SC 37 バイOMETリック ス	ISO/IEC 19794: 2005 (シリーズ規格)	個体の識別技術(フィンガープリント、目の虹彩)

ISO / TC 名 称	規 格 名 称	内 容
TC104 貨物コンテナ	ISO18185 : 2005 (シリーズ規格)	コンテナの電 子シール
TC204 高度交通システ ム	CD24533 サプラ イチェーンに関する 道路交通情報交換 のためのデータディ クショナリとメッセー ジセット	貨物輸送情報 のデータ交換 技術の標準化 (セキュリティ配 慮、航空機とト ラック中心)

審議体制

ISO/TC 8/WG 2 - PAS 28000、PAS 28003
PAS 28004

(コンベナー、Ms Nancy Williams-ITN)

TC 8 - TC 8/SC 11/WG 2 - PAS 28001

(コンベナー、Mr. Steven O'Malley-SAIC)

(国内)

(財)日本船舶技術研究協会

TC 8 セキュリティ分科委員会

(委員数：11名プラス関係官庁)